

救命救急センターの評価に関する項目について

厚生労働省医政局指導課

2013.6.26

救命救急センターの評価に関する項目について

救命救急センターの評価項目(下線:是正を要する項目)

- 1, 専従医師数
- 2, 1に占める救急科専門医数
- 3, 休日及び夜間帯における医師数
- 4, 救命救急センター長の要件
- 5, 転院・転棟の調整を行う者の配置
- 6, 診療データの登録制度への参加と自己評価
- 7, 消防機関から搬送受入要請を受ける救命救急センターの電話等の状況
- 8, 感染症の管理について
- 9, 医療事故防止への対応
- 10, 年間に受け入れた重篤患者数(来院時)
- 11, 消防機関から救命救急センターに対する搬送受入要請への対応状況の記録と改善への取組
- 12, 疾病の種類によらない受入れ
- 13, 救急外来のトリアージ機能
- 14, 電子的診療台帳の整備等
- 15, 循環器疾患への診療体制
- 16, 脳神経疾患への診療体制
- 17, 整形外科医による外傷診療体制
- 18, 精神科医による診療体制
- 19, 小児(外)科医による診療体制
- 21, 産(婦人)科医による診療体制
- 22, 医師事務作業補助者の有無
- 23, CT・MRI検査の体制
- 24, 救命救急センターの機能評価・診療体制等に関する会議
- 25, 第三者による医療機能の評価
- 26, 医師の負担軽減に資する計画の策定等
- 27, 休日及び夜間勤務の適正化
- 28, 救命救急センターを設置する病院の年間受入救急車搬送人員
- 29, 消防機関から救命救急センターを設置する病院に対する搬送受入要請への対応状況の記録と改善への取組
- 30, (都道府県による評価)
都道府県メディカルコントロール(MC)協議会又は地域MC協議会等への関与、参画
- 31, (都道府県による評価)
救急医療情報システムへの関与
- 32, (消防機関による評価)
ウツタイン様式調査への協力状況
- 33, 救急救命士に対するMC体制への関与
- 34, 救急救命士の病院実習受入状況
- 35, 臨床研修医の受入状況
- 36, 災害拠点病院の認定
- 37, DMAT指定医療機関

出典:「救命救急センターの新しい充実度評価について」
(医政指発第0331001号)

充実度段階評価の際の留意事項

項目ごとの留意点

- 「10. 年間に受け入れた重篤患者数(来院時)」について、重篤患者数のうち救急車で来院した患者数との比率を確認する。
(重篤患者の定義を示しているが、施設間で差が認められるため。たとえば、救急車で来院していない重篤患者が多い施設には、定期手術後の集中治療の傷病者などが混在している可能性がある。)
- 「10. 年間に受け入れた重篤患者数(来院時)」について、「必要に応じて重篤患者のリストの提出を求めることがある。」と示しており、重篤患者数が不自然に多い施設については、重篤患者のリストの提出を求める。
- 「11. 消防機関から救命救急センターに対する搬送受入要請への対応状況の記録と改善への取組」と「29. 消防機関から救命救急センターを設置する病院に対する搬送受入要請への対応状況の記録と改善への取組]について、A評価は、「応需状況についての院内外に公表」している場合となるため、A評価の施設に対しては、搬送受入要請への応需状況のデータを求める。